

## 教員データ

教授
成人看護学
東野 督子
ひがしの とくこ

学位	博士（看護学）
学部／大学院	学部／大学院
担当授業科目	<p>【学部】成人急性期看護概論，成人周術期看護論，クリティカルケア論，成人看護技術演習Ⅰ・Ⅱ，成人看護学基盤実習・成人急性期看護学実習・成人慢性期看護学実習，卒業研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p>【大学院修士課程】成人看護学特論，周術期ケア開発特論，成人看護学演習，感染制御論，特別研究</p> <p>【博士課程】療養生活看護学特論，看護学演習，特別研究</p>
研究テーマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染予防看護に関連する研究</li> <li>2. 成人急性期臨床看護ケア・教育プログラムに関連する研究</li> <li>3. 口腔ケアに関連する研究</li> </ol>
主要所属学会	<p>日本口腔ケア学会（常務理事）</p> <p>国際口腔ケア学会（理事）</p> <p>日本看護研究学会（評議員 2024年6月～）</p> <p>日本看護科学学会</p> <p>日本赤十字看護学会（評議員 2024年6月まで）</p> <p>日本環境感染学会</p>
主要著書・論文	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 編集委員：道重文子，東野督子他（2023）ライフステージに沿った口腔ケアガイド．メヂカルフレンド社．</li> <li>2) 今日の治療指針 2020年度版「口腔ケアと嚥食」医学書院．</li> <li>3) 編著：東野督子他（2017）QRコードから動画が見られる家庭でできる口腔ケア．口腔保健協会．</li> <li>4) 編集委員：小西美智子，東野督子他（2016）関連図からみた口腔ケア．永末書店． など</li> </ol> <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東野督子（2023）口腔ケアがもたらすアウトカムー生きる力を支援する口腔ケアー，日本リハビリテーション看護学会，</li> </ol>

- 13 (1) ; 9-15.
- 2) 鳥居千洋, 東野督子 (2023) 人工関節全置換術を受けた高齢者の社会参加に及ぼす要因, 日本運動器看護学会誌, 19 ; 7-46.
- 3) 小山順子, 東野督子他 (2023) 在宅要介護高齢者に実施する口腔ケアに関する全国の介護支援専門員の実態調査, 日本口腔ケア学会誌, 18 (2) ; 39-48.
- 4) Tokuko HIGASHINO (2019) Evaluation of an Educational Program to Improve Hand Hygiene and Use of Gloves in Japanese Nurses, Japanese Journal of International Nursing Care Research, 18 (4) ; 29-38.
- 5) 鷺尾和, 東野督子, 西片久美 (2019) 救急外来における家族看護実践の程度と関連要因, 日本看護研究会学会誌, 42 (5) ; 933-945.
- 6) 東野督子, 水谷聖子他 (2019) , Web型看護研究支援システム取り入れた看護研究支援の評価-中小規模赤十字病院におけるキャリア開発プログラムの促進にむけて-, インターナショナル Nursing Care Research, 18 (3) ; 53-62.
- 7) 杉村鮎美, 東野督子他 (2017) 大学として取り組むことができる中小規模病院における看護研究支援プログラムの実践効果, 日本看護医療学会誌, 19 (2) ; 72-81.
- 8) 大野晶子, 東野督子他 (2016) キャリア開発をするための臨床看護師への研究支援プログラムの開発第1期プログラムの実践報告, 日本赤十字看護学会誌, 16 (1) ; 33-39.
- 10) 東野督子, 石黒千恵子他 (2016) 中小規模病院に勤務する看護師への研究支援プログラムの開発 —大学と病院との連携—, 日赤医学会誌, 67 (2) ; 309-314.
- 11) 東野督子, 神谷和人 (2015) ICUにおける患者療養環境への methicillin-resistant Staphylococcus aureus の汚染状況, 日本環境感染学会誌, 30 (5) ; 309-316.
- 12) 東野督子, 藤井徹也他 (2014) ICUに勤務する看護師の気管吸引行動に関する実態調査, 日本看護技術学会誌, 13 (1) ; 56-65.
- 12) 東野督子, 神谷和人 (2013) .手荒れ対策としての手指消毒方法の検討—0.2%ベンザルコニウム塩化物消毒液の効果—, 感染防止, 23 (3) ; 30-32.
- 13) Higashino T, Kamiya K (2011) .Survival of MRSA attached to materials used in medical facilities at different

humidity levels. *Medicine and Biology*,155 (8) ; 456-461.

14) 東野督子, 神谷和人 (2011) .医療施設で使用される資材や器材に付着した Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* の各種温度条件における生存性, 日本環境感染学会誌, 26 (2) ; 67-73. など